

2016年11月7日

内閣総理大臣 安倍晋三殿
外務大臣 岸田文雄殿

「日印原子力協定 調印反対 要請書」

私たちは、11月10日予定のインド・モディ首相来日時における「日印原子力協力協定」（以下「協定」）の調印・締結に強く反対する。

本「協定」は、戦後日本外交の基本方針を踏みつぶし、世界の核廃絶・核兵器禁止へ向けた動きに逆行することは明らかである。

東電第一原発事故の収束もできず、世界に原発を売り込む日本政府の非倫理性には非難が集中しており、「本協定」調印に動く日本政府に対して厳しく抗議する。

私たちは本日、原発メーカー3社への要請行動、本交渉、午後3時から院内集会、東京大集会を実施する。さらに日印首脳会談当日の11月11日を「世界同時行動デー」と定め、国会前、官邸前、大阪など国内各地、インド原発計画各現地と大都市各地、さらにアメリカ、イギリスにおいて大抗議運動を行う。

たとえ両政府が調印を強行しても、来る国会手続きにおいては、国会議員「原発ゼロの会」と協力し、徹底的な審議を求め承認阻止のため闘う決意である。

私たちは、インドの人びとと共に、以下の通り重ねて求める。

日印原子力協力協定を締結しないこと。また、これにかかる一切の交渉を中止すること。

日印原子力協定阻止キャンペーン 2016